

# 大会1日目の皆さんの様子より



○台湾からの皆さまによる記念撮影  
お揃いの素敵なユニホームが壮観な眺めを作り出しました。遠く台湾から113名もの方々が参加をしてくださり本当に感謝です。



ワイズメンズクラブ国際協会

第28回  
アジア太平洋地域大会  
— Action! 前へ進もう —

## 大会ニュース

第1号 7月20日

松島 (写真提供: 宮城県観光課)



2019年7月19日(金)~21日(日) 会場: 仙台国際センター

## オープニングと国際会長就任式



○オープニングミュージック  
開会式に先立ち、仙台南高等学校音楽部合唱団のコーラスが披露されました。演奏曲は「わせねでや」は「忘れないでね」の意。津波被災された女性の詩をもとに作られた曲でした。30人の歌声は、悲しい歌ながらも、会場をやさしい雰囲気包み込みました。



○国際会長就任式  
右から次期国際会長ポールの妻とポール（デンマーク）、次が現国際会長のジェニファー（オーストラリア）とそのハズバンドによる就任式後の記念撮影。



ワイズメンズクラブ国際協会 東日本区・西日本区

# 一般公開講演会



**○宮城県知事 村井嘉浩氏の講演**  
震災後8年を経て、防災拠点づくりに努めている。  
具体的には、水産業の民営化、仙台空港を民営化による観光客の確保、医学部の新設→医師不足の解消をめざすこと等、6項目にわたって、抜本的再構築の取り組みを発表された。また、支援のあった国を全て読み上げたうえで感謝を述べられた。



**○「東日本大震災みやぎこども育英基金」**  
「東日本大震災みやぎこども育英基金」への寄付として、田中アジア太平洋地域会長から村井知事に寄付目録を授与されました。目標額は、本大会期間中に100万円です。



**○村井仙台 YMCA 総主事の講演**  
被災直後は、YMCAのスタッフ全員が打ちひしがれていたが、そのような時に、元気を与えてくれたのが、全国のワイズメンからの支援だった。そこから、仙台YMCAは立ち上がる事ができた。この気持ちは今も忘れることがない。

**◆国崎さんの講演**  
2008年7月28日、神戸市の都賀川の洪水の災害や昨年の西日本豪雨水害等、近年の水による被害事例より、日本の地域ハザードマップは高精度化しているものの、十分に活用がされておらず、意識の改革が必要である。  
地震に対しても、死なない、けがをしない工夫を各家庭で行う必要がある。例えば、家具等インテリアを柔らかい素材にするなど、家具を買い換えるときに心がけている。知識、技術を普段から蓄積して災害に備える習慣が必要である。



**◇光永さんの講演**  
熊本地震後のワイズメンの取り組みとして、避難所となった体育館に、避難者が生活しやすいように、カーテンで間仕切りを作った。この力は、ワイズならではのものすばらしいものであった。広島YMCA総主事からの、昨年の西日本豪雨災害支援に対するお礼メッセージの披露があった。

# IPAP ナイト (直前アジア太平洋地域会長主催晩餐会)

**◆さとう 宗幸 ミニコンサート**  
オープニングアクトとして日本有数の歌手であるさとう宗幸さんのミニコンサートが行われ、代表曲である「青葉城恋歌」を含む6曲を歌い上げ、地元、仙台・東北に対する愛情溢れる温かい歌声に会場が酔いしれました。  
「被災地に行ったら現実を見るのではなく、真実を理解して欲しい」と会場のワイズメンに問いかけつつ、東北応援ソングである「花は咲く」に繋げ、女性シンガーの澄んだ歌声の掛け合いも楽しいアンコールで披露した「虹をかけよう」で会場の盛り上がりは最高潮に達しました。



**○東日本区ワイズメネットの皆さんによる踊り**  
日本の伝統に触れる体験をしてもらいたいと、ステージで盆踊りが繰り広げられました。北東部のメネットの呼びかけで、その踊りの輪は、直ぐに会場に全体に広がり盛り上がりました。

